

創世記「初めに、神は天地を創造された」について

放送大学秋田学習センター客員教授
立花 希一

皆さんは、創世記冒頭の「初めに、神は天地を創造された」（新共同訳聖書）という言葉をおそらくご存知だろう。欽定訳聖書（*King James Version*, 1611）では、In the beginning God created the heaven and the earth. である。英訳と和訳とは、同じ訳・同じ意味だと思われるかもしれない。すなわち、神と God が対応し、天地と the heaven and the earth が対応している。英語の「In the beginning」は副詞句で、日本語の「初めに」も副詞的用法であるという点でも同じ文構造をしていると。

そうだろうか？なぜ「創造した」ではなく、尊敬語を用いて「創造された」と訳されているのか？神は崇拝の対象なのだから当然だ。尊敬語を用いなかったら神に対して失礼ではないか。しかしである。英語圏でも、特にキリスト教徒なら、神を崇拝しているはずだ。だとすれば、英語にも、尊敬を示す敬語表現が存在するのだから、ただ単に created ではなく、そのような表現になっただけでも良さそう（しかし、そうはなっていない）。「創造された」という翻訳だけに着目しても、英語圏とは異なる文化が滲み出ているのだ（原典のヘブライ語も敬語表現は用いられていない）。

ヘブライ語原典をさらにみてみよう。ヘブライ語には子音文字しかなく、母音の発音は文脈で判断するが、発音の仕方に応じて意味が異なる。ヘブライ語の対応箇所が、もし英語のような副詞句であれば、英語の the を含意するように「バレーシト (bareshit)」と発音する。しかも必ずそう発音させるためには子音文字に当該の母音記号を付加しなければならない。ところが、テキスト全体に母音記号が記されているマソラ本文 (*Biblia Hebraica Stuttgartensia*) では、「バレーシト」ではなく、実に「ベレーシト (bereshit)」と発音させる母音記号になっている。「ベ」と「バ」の違いは、例えば、「ベセフェル」は、in a book で、「バセフェル」は、in the book である。だから、「バレーシト」は、直訳すれば、in the beginning ではなく、in a beginning である。

文法的には、「ベレーシト」は副詞句ではなく、「ベレーシト」から始まる文は副詞節だそうだ。したがって、「初めに、神は天地を創造した」という一つの完結した文ではなく、「初めに神が天地を創造したとき…」と従属節として訳すべきで、次に来る「地は…」が主節なのだという。もしこの言語学的研究成果を受け容れるならば、英訳も和訳も聖書の冒頭からして誤訳である。

さらに言えば、神、God、ヘブライ語のエロヒームは同じ概念だろうか？「創造した」や「created」は、ヘブライ語の「バーラー」の意味を適切に汲み取っているだろうか、等々。このように聖書の一節を取り上げただけでも、いろいろな疑問点を指摘することができる。

来年度第一学期面接授業「創世記を批判的に読む」（7月13-14日開講予定）では、上記のような様々な疑問点を挙げながら話をする予定である。興味・関心のある学生には、是非、受講していただきたい。